

千葉大学病院にて先天性嚢胞性肺疾患の胎児治療をされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年1月4日

産科・婦人科

産科では、先天性肺嚢胞性疾患への胎児治療に関する研究を行っており、以下に示す方の試料や診療情報等を本文書公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に試料・情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2004年1月1日～2023年9月30日の間に当院で先天性嚢胞性肺疾患を指摘されており、胎児期に経母体ステロイド投与施行の後分娩された方

1. 研究課題名

「先天性肺嚢胞性疾患に対して経母体ステロイド投与を施行した5例の検討」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日

この研究は、観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

目的：先天性肺嚢胞性疾患で経母体ステロイド投与を要した症例の特徴を明らかにする。

方法：電子カルテの記録より超音波・MRI画像と医師記載の経過記録を用いて、母体にステロイド投与を行った胎児先天性肺嚢胞性疾患の胎児期および生後の経過を確認し、ステロイド投与前後の経過の報告および治療介入すべき時期を後方視的に検討する。

4. 研究に用いる情報の種類

電子カルテに記載されている、母体情報（年齢、妊娠分娩歴、飲酒・喫煙など嗜好歴）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴）や母体の各種検査（血液、超音波、MRI）、介入時期、治療前後の病変の大きさ、胎児水腫の有無、分娩週数、手術病理結果。

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 横手 幸太郎

研究代表者：産科 助教長澤 亜希子

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部附属病院産科・婦人科で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に試料・情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院産科・婦人科

医師 長澤 亜希子

043 (222) 7171 内線 6582